

神栖町における有機ヒ素汚染源 調査についてのお知らせ

発行・編集 環境省 環境リスク評価室、茨城県 環境対策課、神栖町 環境課、日立造船(株)

ヒ素含有コンクリート様の塊の発見について

昨年12月24日に掘削を開始し、作業を進めてきたところ、トレンチ掘削部の深さ約2mの地点で、コンクリート様の塊(東西4m以上、南北2m、厚さ10cm以上)を発見しました。当該コンクリート様の塊とその内部に点在する白色結晶様の物質及び周辺土壌を分析したところ、白色結晶様の物質から約10,000ppm、コンクリート様の塊では約600ppm、周辺土壌からは最大で約1,000ppmのジフェニルアルシン酸を検出しました。なお、ジフェニルアルシン酸関連物質以外の毒ガス成分は検出されておられません。

今後の掘削調査の進め方について

これを受け、1月14日午後、専門家による検討会(国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会)を開催して検討した結果、このコンクリート様の塊は高濃度の有機ヒ素化合物を含有するものの、その全体像が不明である現時点では、当該塊自体が汚染源と特定することはできず、今後は、当該塊周辺を中心に重点的に調査する必要があるとの結論になりました。このため、具体的には次のようなことを実施します。

- ・深さ約2.5メートル地点までコンクリート様の塊周辺を掘削し、コンクリート様の塊の全体像を把握するとともに、周辺土壌についての分析を進めます。
- ・コンクリート様の塊の内部の状態について、非破壊の方法等により安全性を確認した上で、内部のサンプルを採取し分析します。
- ・その後、コンクリート様の塊の下部の状況を調査するために、安全に除去する方法を検討します。

また、コンクリート様の塊が発掘されたことに伴い、工程を一部変更して、8日から全体の掘削を開始し、現在全体の掘削は深さ1mまで掘削が進みました。今回コンクリート様の塊が発見された地点以外の部分については、可能な範囲で掘削作業を続ける予定です。

近隣の皆様には、引き続き調査にご理解、ご協力宜しくお願い申し上げます。

〈コンクリート様の塊の様子〉

平成17年1月13日撮影



※ 1/23(日)、2/6(日)、2/11(祝)は作業を実施する予定です。

※ 前記の他、掘削現場周辺等においてボーリング調査等の環境調査を別途行う予定です。

住民説明会開催について

汚染源掘削調査の状況、環境調査の状況等をご説明するため、下記の要領で住民説明会を開催いたします。

ご多忙の折とは存じますが、ご参加頂けますようにご案内申し上げます。

日時 1月20日(木) 18時30分～20時

場所 神栖町保健・福祉会館(神栖町溝口 1746-1)

内容 ①汚染源掘削調査の状況について

②環境調査の状況について

③その他

お問い合わせ・御質問は下記の窓口へ御連絡下さい

日立造船 現場事務所 090-3350-7679

環境省 環境リスク評価室 03-5521-8262

(<http://www.env.go.jp>)

茨城県 環境対策課 029-301-2966

(<http://www.pref.ibaraki.jp>)

神栖町 環境課 0299-90-1146

(<http://business2.plala.or.jp/kamisu>)

なお、関連する情報をお持ちの方は、環境省、茨城県、神栖町へご連絡頂ければ幸いです。